

組織ビジョン：成長しつながら事によって幸せを生み出す組織

つまらなそうに仕事をして、週末だけ楽しむ人生なんて、勿体ない。
仕事をしている時間も、それ以外の時間もワクワクに満ち溢れている。
SOWで働くメンバーには、そんな毎日を送って欲しいと思ってます。
それには、一人一人の成長と様々なつながりが大切だと考えています。



「信じる」

多くの企業や会社は社員に求める行動を行動指針として掲げています。
そして、その行動指針が体現出来ているか監視や管理されている事が多いです。
最低限の基準は必要ですが、基本的に監視や管理されても、ワクワクしないし、誰も幸せにならないと考えています。
だからこそ、子どもの支援でも、働くメンバーでも、頑張っている事を前提にサポートするスタイルを提案しています。

現場を疑うのではなく、信じる、メンバーとリーダーと経営、役割が異なる人たちが、皆信頼でつながり、
ともにワクワクする仕事がしたいと思っています。



SOWが大切にする6つの力

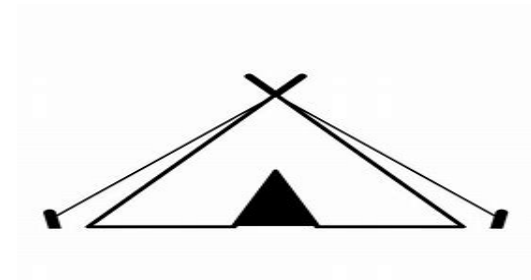
療育方針・理念

①ケガをしない丈夫な体づくり

運動体験部屋で、トランポリン・バランスボールなどを使って、基礎体力の向上、体幹トレーニングをします

②自分で出来ることを自分でする

身辺自立の最終目標をキャンプが出来る子を育てるをテーマにしています。
身の周りの小さい事から、一人で出来る様スタッフが支援させていただきます。



③人との関わりから、判断・行動を身に付ける

スタッフや発達段階が違い年齢が違う児童がやってみたいこと、思い通りにならないこと、実際に体験し頼りあい、ぶつかり合い、教えあいます。学年別に分けるのではなく、発達段階に合わせた療育をします。
又、地域との行事にも積極的に参加し交流を図ります。

④活動を選択し、自分で考えて行動する

活動自体をスタッフが全て決めるのではなく、月に1回程度、グループに分け子どもたち自身がしたい活動を考え、自分自身が興味がある活動を選び参加する。自主性を促す療育をします。

⑤生死を知る・四季を感じる心を養う

自然活動の中で、虫の観察・魚の採取・植物・野菜を育てる事を行い、生きる死ぬについて学びます。
自然体験部屋では、常に四季が身近に感じられる様に季節ごとの写真を掲示。又、活動の中で自然観察の時間を設けます。

⑥感じたこと・考えたことを表現する

やりたいこと・してほしいこと・わからないことを尋ねたり言葉で表現出来るよう、スタッフと一緒に振り替える時間をもうけ考えていることや感じていることを表現する力を養います。

